



新課程教科書紹介特集 Part.7 ビジネス・マネジメント

一橋大学教授 軽部 大

1) 科目概説

2022年度より『ビジネス・マネジメント』が新設されます。この科目では、個人と社会を結びつける協働の場である「組織」に注目して、組織が新しいビジネスをどのように生み出すのか、ビジネスの創造を通じて、どのように社会のニーズを充足し、社会の課題を営利活動として解決するのかを考えます。この科目の学習を通じて、ビジネスの創造に必要な基本的な知識と、自らが主体的にビジネスの創造に取り組むために必要な考え方を学びます。

2) 教科書の特長

この科目では、先生は何を教え、生徒は何を学ぶか、現場でお困りの先生も少なくないはずですが。本教科書の特長は、ビジネスの創造（事業創造）を冒頭に据え、ビジネスの誕生→成長→発展→成熟という「企業成長の一連の過程」を念頭に各章が構成されている点、ビジネスと社会のあり方について別途1章を割いている点です。ビジネスの盛衰に伴い、マネジメントに関して取り組むべき課題の変化を自然に理解できる構成となっています。具体的には、第1章「ビジネスの創造」、第2章「ビジネスの組織化」、第3章「経営資源のマネジメント」、第4章「ビジネスの変革」、第5章「ビジネスと社会」という5章から構成されています。新しいビジネスがどのように誕生し（1章）、組織化されるのか（2章）。ビジネスの成長のために経営資源をどのように利用するか（3章）。ビジネスの成熟化を克服するには何が必要で（4章）、ビジネスを通じていかに社会と向き合うか（5章）、順を追って扱います。

また本教科書では、ビジネスを「特定の人々を顧客と定め、顧客のニーズを充足させ、顧客が抱える課題を解決する営利活動」と定義し、ビジネス・マネジメントを「ビジネスの創造を通じて社会のニーズと課題解決に応えること」と定義しています。営

利活動につながる社会のニーズや社会の課題を、我々はどうのように拾うべきでしょうか。社会のニーズを充足し課題解決に応えることは、一人ではできず、組織を通じて他者と協働することが必要です。では、どのように他者と協働すべきなのでしょう。組織運営の際に考えるべきことは一体何でしょうか。目標はどのように設定すべきでしょうか。環境変化に応じて、組織はどのように変化していくべきでしょうか。社会的責任という形で、企業はどのように社会の期待に応えるべきなのでしょう。

本教科書では、ビジネスの創造に伴い直面する、様々なマネジメントに関する課題に取り組むための知識や考え方について順序立てて扱うことで、単元の進行とともに出てくる素朴な疑問にも答えられるように構成されています。

3) 工夫したこと

本教科書では、高校生でも容易に理解できるような身近で、現実的で、しかも現象の本質を教室で議論できるような最新事例を豊富に取り上げる工夫をしました。また、単に知識を習得するだけではなく、主体的に学び、考え、身近な現実から具体的な解決策を考えるきっかけとなる「事例」「コラム」「実習課題」「語句解説」「実習問題」等も充実させました。巻末には日本の発展を支えた企業家も掲載されています。商業科の検定教科書ではありますが、大人が読んでも、中学生が読んでも、ビジネス上のマネジメントに関わる課題を、正確かつ容易に理解できるように、平易な表現にも努めました。

4) メッセージ

新設科目ということもあり、不安や心配事が多いかと思います。しかし、本教科書を手にとったただければ、その不安は大きく解消されるはず。[なるほど、そうだったのか]。教室でそのような声が聞ければ、筆者一同望外の喜びです。